



本号の主な内容

- 2面 全国造園フェスティバル 2008 開催報告
- 3面 全国各地で多彩な企画・催事を実施
3年目 コミュニケーション重視等変化も
- 4面 【協会だより】長野県支部、佐賀県支部
【事務局の動き】

祝辞を述べる金子一義国土交通大臣



「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会 公園・緑地関係者ら約 1000 人集い、緑化推進めざす 功労者国土交通大臣表彰 日造協から 3 氏が受賞

「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会が10月31日、東京・千代田区の日比谷公会堂で行われた。冒頭、主催者を代表して山田勝巳（社）日本公園緑地協会会長があいさつ。来賓から金子一義国土交通大臣が祝辞を述べた。

次いで、都市緑化及び都市公園保全美化運動功労者国土交通大臣表彰、緑の都市賞、都市公園コンクルの表彰式が行われ、功労者大臣表彰では、当協会から、望月勝保氏（藤木園緑化土木（株）・千葉県）、田中和紀氏（株園田グリーンセンター・宮崎県）、喜屋武忠信氏（有丸喜緑化・沖縄県）の3氏が受賞した。

その後、石川幹子東京大学教授による「社会的共通資本としての公園緑地」をテーマとした講演、緑の都市賞受賞都市や小林昭国土交通省都市・地域整備局公園緑地・景観課長による「公園緑地・景観行政をめぐる最近の動き」についての報告が行われた。

平成20年秋の褒章 当協会から4氏受章

平成20年秋の褒章受章者が発表され、当協会からは黄綬褒章を成次男氏73（株）富士植木代表取締役社長、日造協前会長・東京都千代田区、藤巻司郎氏64（藤造園建設（株）代表取締役）の4名が受章された。



去る10月8日、14時から東京・千代田区の弘済会館において、国土交通省小林公園緑地・景観課長、舟引緑地環境室長他幹部の皆様、造園関係五団体の会長、理事長、副会長等25名が集

造園・環境緑化産業振興会 代表者会議を開催

はじめに主催者を代表して、日造協佐藤会長から環境緑化産業の担い手として、五団体が一致団結して緑豊かな環境文化の創造に貢献していくとあいさつ。

続いて、小林国土交通省都市・地域整備局公園緑地・景観課長から来賓挨拶をいただき、その後、議事に入った。議題としては、平成19年度事業報告及び収支決算、平成20年度事業計画及び収支予算を審議し、両案とも異議なく承認された。

議案審議終了後、舟引緑地環境室長から最近の都市緑化等に関する動向について等、望月課長補佐から平成21年度予算概算要求内容の説明を行っていた。

続いて、意見交換に入り、各団体からの情報提供が行われ、当協会からは伝統的造園技能・技術講習会、技



都市緑化キャンペーンのようす

都市緑化キャンペーン開催 東京・銀座 数寄屋橋公園で 金子国土交通大臣らが花鉢配布

都市緑化月間の中央行事として10月10日、東京・中央区銀座の数寄屋橋公園で都市緑化キャンペーンが開かれ、オープニングセレモニーには、金子一義国土交通大臣らが出席、都市緑化推進の普及啓発のため、ガーベラやコスモスなど、季節の花2千鉢を来場者一人ひとりに手渡した。

会場ではこのほか、さまざまな公園の紹介や園芸相談なども行われた。

樹林

この世に存在する物質や概念などすべてについて分類し、名前をつけることは、人間の最も根源的な欲求の一つだと言われている。そしてそれは、共通の認識として共有したとき、世界は構築される。

硬い話から始まって恐縮だが、なぜこんなことを述べたかと言えば、読者からいただくお便りに、「今まで分かった生きた生き物の名前が分かって嬉しい」というものが多いからだ。

当社のことはご存じない方がほとんどと思われるので、簡単に紹介させていただきますと、30年ほど前から動物・植物など、生き物の図鑑を中心に、雑誌、専門書などの出版を行っている。例を挙げると、最近では私が編集を担当

生き物図鑑から見えてくるもの

文一総合出版 椿 康一

たとえばいつも散歩する公園に生えている木の名前が分かるようになる、まさに知人のごとく自分の中での存在感が増すとともに親しみがわき、いつしかそれを知らなかったときとの心持ちとの歴然とした差を感じるだろう。そのとき、その方は明らかに世界的にも負担が少なく、手法によって

かもしれない。そのような方々が身近な生き物から始まって徐々に広く生き物全般に目を向けて行くようになることは大変素晴らしいことだ。

貴重な人生の時間の過ごし方として、生き物観察や生き物調べほど知的で興奮に満ち、適度に体力も使い、経済的にも負担が少なく、手法によって



てやつと多様な生き物に出会うのは寂しい。もともと身近な公園や庭での生き物、特に野生生物との共存を図れないものだろうか。

図鑑というところ、どうしても野草、鳥魚などと分類群ごとに出版することが多く、その相互関係について触れられないことは少ない。生き物には必ず適し

は地域の自然を守ることも役立つツルはそうあるものではなく、この楽しみを知らないで過ごすのはいかにももったいない！

残念ながら、人間を含む生き物の生存環境は年を追うごとに悪化しているように見える。遠方まで出掛けていっ

た生育環境があり、昆虫であれば特定の植物が生えていることが存在の鍵を握っている。昆虫が多ければそれを食べる鳥も多くなる。鳥がすむには様々な種類の木が必要である。

人間が生きた物を知り、生育環境に適した手入れすることで、ある程度生き物豊かな身近な自然をつくることは可能である。

人生を豊かに彩ってくれる自然とそこにすむ生き物たち。それがいつまでもあり続けてほしいという願いは少なくないに違いない。よく見ると身の回りにも意外に貴重な野草が生えていたりするので、そのようなものに気付くことも嬉しいことである。

一冊の図鑑がそんな生き物の存在に目を向けるきっかけになってくれたら嬉しい。

ティバル2008

多彩な企画・催事を実施



野生種が絶滅危惧種に指定されているオトメユリの球根植え付け実施

「花と緑で美しい日本を」をメインテーマに、日造協の会員が身近な公園や広場などを会場に全国で一斉に花と緑のアピールを行う「全国造園フェスティバル」が10月11日から13日を中心に各地、各会場で行われました。全国の催事の一部を紹介します。

絶滅危惧種オトメユリ植え付けなど 国営みちのく杜の湖畔公園で開催

宮城県支部

宮城県支部は10月12日、国営みちのく杜の湖畔公園内で開催しました。開催当日は、国営みちのく杜の湖畔公園ではコスモスまつり2008の期間中で、ファミリーコンサート等多彩なイベントが公園内で開催されており、かつ天候にも恵まれ、多数の親子連れに対し日造協のPRを行うことが出来ました。なお、当日の入場者数は1万7555人と公園開設以来最高の入場者数を記録したとのことです。

部から準備して頂いたPR用のポスターの掲示をはじめ周囲にはノボリを設置し、準備した花鉢（シクラメン800鉢）を協会のパンプレットとともに配布しました。配布開始の30分も前から長蛇の列ができ、あつという間に全てなくなるといふ盛況ぶりでした。また、お客様が掲示板の周りを取り囲み、ポスターやPR用の資料を見ながら親子が会話しているほほえましい光景も観られました。

事務局

子による花壇づくりとして、オトメユリの球根を200個植付けたいしました。オトメユリは、日本特産のユリで宮城県では白石川上流域に自生しており、野生種は絶滅危惧種に指定されている貴重な植物です。植付した球根の成長過程や花が咲揃った姿を来年見られることを楽しみにできると、好評のうちに終了しました。

公園利用についてのアンケート収集も 浜松市アクト通り・東ふれあい公園で

静岡県支部

静岡県支部は10月18日、東ふれあい公園を会場に開かれた浜松市の秋季恒例イベント『浜松・花みどりのアクト通り及び隣接する祭2008―秋の緑化祭』と併催する形で、全国造園フェスティバルを開催しました。開催中は、両日とも穏やかな秋晴れの好天に恵まれ、朝から多くの市民が訪れ賑わいが創出されました。そんな中、今年はメイン企画として公園利用についてのアンケート収集を試みました。

今年のメイン企画として行ったアンケート収集の模様

行政が主催するイベントと共に行うということで、他の参加ブースとの関連

付けの打合せ等を行いフェスティバル開催場所の決定をみました。

私たちは東ふれあい公園脇にテントを設営し、造園建設業についてのPRポスターを中心に花とみどりに関する情報、支部会員会社案内等を掲示しました。

開催中の2日間は、両日とも穏やかな秋晴れの好天に恵まれ、朝から多くの市民が訪れ賑わいが創出されました。そんな中、今年はメイン企画として公園利用についてのアンケート収集を試みました。

形で実施しました。設問数もかなり多く、どの程度回収出来るか不安を抱きながら始めましたが、市民の反応は良好で2日間で300部用意したアンケートリリーフレットを全て回収。また回答も熱心に且つまじめに答えてくれたものが多く、これを集計・資料化するの

開催中は、両日とも穏やかな秋晴れの好天に恵まれ、朝から多くの市民が訪れ賑わいが創出されました。

また、アンケート内容の説明、プレゼントの苗木を渡すときの市民との会話の中で、花・みどりの大切さ、私たちの公園づくり・公園管理をはじめとする造園の

このフェスティバルを通じて多くの市民に公園の事、造園のことを知ってもらうこと、そして協働してその大切さ、素晴らしさのアピールに繋がっていくようになれば、全国造園フェスティバルがますます意義深い事業になっていくのではないのでしょうか。

技術委員長・内山晴芳

来園者楽しませるプランター等作成 都立大井ふ頭中央海浜公園

東京都支部

東京都支部は日比谷公園をはじめ、各所でフェスティバルを開催しました。このうち、10月11日には、日比谷アメニスグループが指定管理者となっている品川区の都立大井ふ頭中央海浜公園で開催しました。

当日朝はあいにくの雨模様で、スタッフ約15名が、来園者を心配しながら、忙しく準備に当たりました。公園は、スポーツ施設が中心で草花の少ない公園のため、今年も「秋の草花による寄植え体験」と、隣接する「なぎさの森」で常時開

催イベントとして評判の良い「木の実・小枝のクラフト」を行いました。他に花鉢、花の種のプレゼントもあり、事前のピラ配り、場内アナウンスにより、11時の開催時間には、多数の来園者が訪れました。

NHK首都圏放送センターの取材では、親子和気あいあいプランターに花苗を植え、土まみれながらも完成し、木札に思い思いのメッセージを書いている姿が放映されました。イベントで作られた30組のプランターは、日当たり

のよいスポーツの森管理事務所前に置かれ、草花は来年3月まで、植えられた球根は6月の開花頃まで訪れる来園者の方々の目を楽しませてくれるでしょう。

その後、正午頃には雨も上り、陸上競技場で運動会をしていた家族連れや、還暦野球大会に参加していた

のよきスポーツの森管理事務所前に置かれ、草花は来年3月まで、植えられた球根は6月の開花頃まで訪れる来園者の方々の目を楽しませてくれるでしょう。

その後、正午頃には雨も上り、陸上競技場で運動会をしていた家族連れや、還暦野球大会に参加していた

のよきスポーツの森管理事務所前に置かれ、草花は来年3月まで、植えられた球根は6月の開花頃まで訪れる来園者の方々の目を楽しませてくれるでしょう。

その後、正午頃には雨も上り、陸上競技場で運動会をしていた家族連れや、還暦野球大会に参加していた



好評の「木の実・小枝のクラフト」のようす

効用（CO2削減、癒し効果）、それらを創り管理する造園技術の素晴らしさを理解して貰うため、さらなる発展を願っています。また、余談ですが、これらのイベントは毎年社員ボランティアで運営していま

神奈川県支部は10月12日、(財)神奈川県公園協会等が実施する「相模原公園オータムフェア」に合わせ、県立相模原公園のグリーンハウス入口付近で、「第1回かながわ・街路樹フォトコンテスト」の作品紹介や第2回作品の募集PRなどを実施しました。

今回は、昨年の実施経験を生かし、1つのテントに入口と出口を設け、中央に

アンケート記入用のテーブルを設置。テント内側の周りに日造協の紹介や第1回コンテストの入賞作品を展示する。回遊式の動線を確保し、入口でテント内の人数制限を兼ねて、日造協やコンテストについて概説しながら調節することで、効果的でスムーズなPRを実現していました。

花苗などの無料配布には大勢の人が集まりますが、

アンケート記入用のテーブルを設置。テント内側の周りに日造協の紹介や第1回コンテストの入賞作品を展示する。回遊式の動線を確保し、入口でテント内の人数制限を兼ねて、日造協やコンテストについて概説しながら調節することで、効果的でスムーズなPRを実現していました。

花苗などの無料配布には大勢の人が集まりますが、

「街路樹コンテスト」紹介・募集 相模原公園オータムフェアと連携

神奈川県支部

普段は交流の少ない部署の社員と共にこのイベントを運営できることも、企業にとって大きな収穫と

アンケート記入用のテーブルを設置。テント内側の周りに日造協の紹介や第1回コンテストの入賞作品を展示する。回遊式の動線を確保し、入口でテント内の人数制限を兼ねて、日造協やコンテストについて概説しながら調節することで、効果的でスムーズなPRを実現していました。

花苗などの無料配布には大勢の人が集まりますが、

アンケート記入用のテーブルを設置。テント内側の周りに日造協の紹介や第1回コンテストの入賞作品を展示する。回遊式の動線を確保し、入口でテント内の人数制限を兼ねて、日造協やコンテストについて概説しながら調節することで、効果的でスムーズなPRを実現していました。

花苗などの無料配布には大勢の人が集まりますが、

神奈川県支部は10月12日、(財)神奈川県公園協会等が実施する「相模原公園オータムフェア」に合わせ、県立相模原公園のグリーンハウス入口付近で、「第1回かながわ・街路樹フォトコンテスト」の作品紹介や第2回作品の募集PRなどを実施しました。

今回は、昨年の実施経験を生かし、1つのテントに入口と出口を設け、中央に

アンケート記入用のテーブルを設置。テント内側の周りに日造協の紹介や第1回コンテストの入賞作品を展示する。回遊式の動線を確保し、入口でテント内の人数制限を兼ねて、日造協やコンテストについて概説しながら調節することで、効果的でスムーズなPRを実現していました。

花苗などの無料配布には大勢の人が集まりますが、

本部事務局



テント入口に並ぶ長蛇の列と堆肥を詰める来場者のようす

全国造園フェス

日造協・会員一斉に

造園・園芸教室ながらの質問多数 淡路夢舞台公苑にガーデン等出展

兵庫県支部

兵庫県支部と県造協が連携して10月4日、5日の2日間、淡路夢舞台公苑芝生広場で開催しました。

このイベントは行政主

催との同時開催というこ

とで、第8回ひょうごフローラフェスタと近畿都市緑化祭「グリーンサーカス2008」と協賛し、イベントを共に成功させるため3カ月程前から目的意識の確認、広報活動の内容、テ

公園内の樹木でクイズなど実施 警固公園や海の中道公園会場に

福岡県支部

10月12日の福岡市は快晴に恵まれ、福岡県支部のメイン会場である天神の警固公園は爽やかな秋風の中、沢山の公園利用者で溢れていました。

今年のアトラクションは、公園内の樹木をクイズ式にして問題を解いて回るウォークラリーや苔玉教室、園芸相談コーナーに寄せ植えの実演と盛沢山の内容に

開催となり、近畿都市緑化祭「グリーンサーカス2008」は都市緑化月間に全国各地で開催される地域住民の緑化意識の醸成や住民参加による緑のまちづくりの推進を目的に京都府・大阪府・兵庫県の3府県持ち回りで毎年開催されております。

第8回ひょうごフローラフェスタは淡路花博の開催理念、成果を引き継ぐとともに淡路花博をきっかけとして盛り上がった住民主体の緑化活動を支援し、花と緑のまちづくりの推進を図るため今年で8回目の

なりました。

13時のオープンを待ちきれない人達に開始直後は会場周辺が騒然とする中、警固公園担当の14社30名の日造協スタッフはそれぞれの持場を手際よくこなしてまたたく間に150個の苔玉や150組のウォークラリーの景品である花鉢が無くなっていきましました。今回は花苗や種のプレゼント時に緑化に関するアンケートに記入して頂きました。450枚の回答を得ました結果は都市に於ける屋上緑化の必要性や公園の増設、校

方に無料配布する花苗4種類（日々草・サルビア・コリウス・インパチェンス）900ポットと花と野菜のタネの袋詰めをして来園者を待ちました。



花鉢の配布には多くの来場者が集まった

ものでした。県内3会場の集計では、公園については933名中901名が必要である、まだ足りない、街路樹については必要である、まだ足りない、美観上

大切であるが1138名中1048名と必要などの意見を大きく上回りました。

福岡市の繁華街である天神に位置する警固公園は西鉄電車や地下鉄の駅にも隣接して九州でも多くの人達が行き交う場所、こうした公共の緑地は貴重な空間であることを改めて認識しました。

平成16年3月15日に起きた福岡県西方沖地震の際にここに大勢の人達が避難した映像がニュースで流れたのをご覧になった方も多いと思います。こうしたこともアンケートの結果に表れたかもしれません。

支部長・執行英利

イベントは両日とも10時の開園より多数の方が観光バス等を利用して訪れ、ガーデンコンテスト（花壇・ハンギングバスケット・コナテナガーデン）一般募集の来園者による人気投票があったり、県内の農業高等学校の生徒による「スクールガーデン」また県内の園芸・花卉関連団体等の協力による「モデルガーデン」等が展示されるなか、私たちブースにも多くの方々から来られ「ガーデンングに

H Kの取材が入り、会場風景や「スクールガーデン」、「モデルガーデン」等の紹介と各テントブースでの奮闘ぶりが映しだされ夕方方のニュースになり、造園・園芸や最近の都市緑化への取り組みをアピールする有意義なイベントとなりました。

10月4日は朝から天候も良く3000人の入場者がありましたが、10月5日は朝からあいにくの雨で家族連れの方が少なく1500人とPR活動も行いました。

当日イベント会場にはN

3回目迎え、47都府県すべてで開催 コミュニケーション重視に変化

全国造園フェスティバルの動き

全国造園フェスティバルは今年で3年目。今年に至るまでは、県内3会場の集計では、公園については933名中901名が必要である、まだ足りない、街路樹については必要である、まだ足りない、美観上

みると、第1回84会場、昨年の第2回が136会場、3回目の今年は減少してしまつたことになるが、東京都支部での開催が第1回9会場、第2回66会場、第3回9会場と、大きく変化し

たための数字といえる。

この結果、全体的には横ばいで、伸び悩みと見えるかもしれないが、これまで47都道府県中、第1回が7県で未開催、第2回で3県が未開催だったが、第3回の今年は47すべての都道府県で初めて開催され、文字通りの「全国造園フェスティバル」となった。

また、会場での取り組みも、本部がツールとして用意しているポスターやのぼりをベースとして活用しながらも、地域イベントとの連携、それに応じた展示などの地域性が生かされ、一方的なPRになりがちだった初年度に比べ、独自のアンケートなど、市民の声を収集、さらには積極的に交流を図る取り組みも増加。独自開催や開催会場数ではなく、適切な場所と日時を選び、貴重なコミュニケーションの機会として捉え、市民と向き合う場になっている傾向が伺える。



05年ふくおかフェアでマスコットになった「グリッピ」は、翌年4月から、福岡市の「花と緑のマスコットキャラクター」として活躍。今回のフェスティバルにも参加した



苔玉教室のよう

庭の芝生化等市民のみに対する関心の高さを示す

支部長・執行英利

支部	開催日	開催場所	所在地
北海道	6/29	国営滝野すずらん公園	札幌市
北海道	10/11	帯広市緑ヶ丘グリーンパーク	帯広市
青森県	10/11	青森県立美術館	青森市
岩手県	9/27.28	岩手県立緑化センター	豊川市
宮城県	10/12	国営みちのの(杜)湖畔公園	柴田郡
秋田県	10/4	北秋田の杜公園	山形市
山形県	10/11	児童養護施設 山形学園	山形市
福島県	10/5	開成山公園	郡山市
福島県	10/11.12	コラッセふくしま	郡山市
茨城県	10/12	笠間芸術の森公園	笠間市
栃木県	10/11	みずほの自然の森公園	宇都宮市
群馬県	10/26	波志江環境ふれあい公園	伊勢崎市
埼玉県	10/26	所沢航空記念公園	所沢市
千葉県	10/11	千葉県立行田公園	船橋市
千葉県	10/11	袖ヶ浦公園	袖ヶ浦市
千葉県	10/13	北五井緑道	市原市
千葉県	10/12	稲毛海浜公園	千葉市
千葉県	10/26	千葉ポートパーク	千葉市
千葉県	10/25.26	船橋市アンデルセン公園	船橋市
東京都	10/13	板橋区立熱帯環境植物園	板橋区
東京都	10/26	練馬区立四季の香公園	練馬区
東京都	10/31	日比谷公園	千代田区
東京都	10/4	錦糸公園	墨田区
東京都	10/3	浜町公園	中央区
東京都	10/4	月島第一児童公園	中央区
東京都	11/2	代々木公園	渋谷区
東京都	10/18	杉並区立高井戸地区民センター	杉並区
東京都	10/11	都立大井町中央海浜公園	品川区
神奈川県	10/12	県立相模原公園	相模原市
山梨県	10/25.26	山梨県緑化センター	甲斐市
長野県	10/11	南長野運動公園	長野市
長野県	10/11~13	国営アルプスあづみの公園	安曇野市
新潟県	10/26	岩室体育館	新潟市
富山県	10/4	岩瀬スポーツ公園	富山市
富山県	10/11	富山空港	富山市
石川県	9/23	辰口丘陵公園	能美市
石川県	9/21	奥卯辰山健民公園	金沢市
石川県	10/19	中央公園	金沢市
石川県	10/12.13	西部緑地公園	金沢市
石川県	10/11~13	社内展示室	羽咋郡
岐阜県	10/5	花フェスタ記念公園	可児市
静岡県	10/18.19	浜松市7カ所通り・東ふれあい公園	浜松市
愛知県	10/11	農業文化園・戸田川緑地	名古屋
三重県	10/11	県営都市公園 鈴鹿青少年の森	鈴鹿市
福井県	10/5	足羽川河川敷	福井市
滋賀県	10/11	県営都市公園 奥ひびきスポーツの森	長浜市
京都府	10/4.5	御池通沿道	京都市
大阪府	10/11	ひらかたパーク	枚方市
兵庫県	10/4.5	淡路夢舞台公苑	淡路市
奈良県	10/13	花佐造園(株)	葛城市
和歌山県	10/10	和歌山マリーナシティ イラストリート	和歌山市
岡山県	10/12	岡山県支部	岡山市
広島県	10/11	国営備前丘陵公園	庄原市
広島県	10/12	広島県緑化センター	広島市
鳥取県	10/17~19	鳥取市金沢地内多目的広場	鳥取市
島根県	10/5	くにびきメッセ	松江市
山口県	10/11~13	海峽ゆめ広場	下関市
山口県	10/18.19	「きらら浜」道の駅	山口市
山口県	11/23	吉香公園	岩国市
徳島県	10/12	新町橋東公園	徳島市
香川県	10/26	前前公園	高松市
香川県	11/2	高松空港公園	高松市
高知県	10/11	高知市中央公園	高知市
愛媛県	10/11	愛媛県立とべ動物園	砥谷町
福岡県	10/19	直方リバーサイドパーク	福岡市
福岡県	10/11~13	福岡市山手公園	直方市
福岡県	10/12	白野江植物公園	北九州市
福岡県	10/12	到津の森公園	北九州市
福岡県	10/12	国営海の中道海浜公園	福岡市
福岡県	10/12	警固公園	福岡市
佐賀県	10/18	唐津市ふるさと会館(アルビノ「広場」)	唐津市
佐賀県	10/11	鳥栖市弥生ヶ丘小学校	鳥栖市
佐賀県	10/19	佐賀市金童公園	佐賀市
長崎県	10/25.26	おくんち広場	長崎市
熊本県	10/12	テクノ中央公園	上益城郡
大分県	12/13	大分市スポーツ公園	大分市
宮崎県	11/8	イオン都城ショッピングセンター	都城
鹿児島県	10/18.19	かごしま県民交流センター	鹿児島市
沖縄県	10/11~13	県営浦添大公園	浦添市

美しい街路樹を守るための運動「街路樹の日」を制定

長野県支部

支部では、県造園建設業協会と連携し、10月16日を「街路樹の日」と制定し、「美しいまちは美しい街路樹から」をスローガンに、取り組みを始めました。制定の趣旨は、街路樹の役割・効果について、住民への理解に努めるとともに、美しい街路樹を守り育てるためにはどうしたらいいのか。行政・住民・業界関係者が共に考え行動をしていくきっかけになればということか



剪定実技⑤と式典のようす⑤



そもそも制定に至った経緯は、県の建設部当局との懇談会の中で、街路樹の剪定が、ともすれば、予算や住民とのトラブルを除去することが先行したりして、美しい街路樹を守るという概念が欠けていたこと

と。更には、街路樹剪定士の存在が十分に理解されていなかったこと等が主な要因であります。

この運動のスタートとして、10月16日、松本市の県営松本平広域公園で、行政、地元住民、業界関係者100名ほどが参加し、晴れ渡った青空のもとで、式典、記念植樹を行いました。

ご来賓のあいさつの中で、行政からは、「造園業の方には専門家として、美しい街路樹を守ってほしい。」との期待の言葉や、また、地元住民からは、「街路樹を植樹する際は、地元と十分連携を図ってほしい。」などの注文もありました。最後に、「行政、住民、業

界関係者が、美しい街路樹の実現に向けてそれぞれの役割を果たすことが大事であり、その実現に向けて頑張りましょう。」と宣誓がありました。終了後、会場脇の沿道に街路樹（ハナノキ）を記念植樹し、一連の式典が終了しました。

また、この日は、街路樹剪定士の理解を深めるために、式典終了後、剪定実技の研修も行いました。記念植樹をした同じ沿道に植えられたハナノキを、二人の街路樹剪定士指導員が剪定のポイントを説明しながらの実技には、行政の方々も

熱心に見学していかれました。支部では、昨年4月8日を「芝の日」として、緑っぱいの運動を展開してまいりました。加えて、今回「街路樹の日」を制定しましたが、この運動が掛け声だけで終わらないよう、少しでも

県民に理解され、実のあるものとなるよう会員一同努力していく覚悟であります。一方、責任の重さを痛感しております。

事務局長 長田憲治



小学生を対象とした緑の環境教育への試み

佐賀県支部

今、私たちを取り巻く環境は、痛みに耐え苦しんでおります。

この「かけがえのない地球」「かけがえのない自然」

に人間だけでなく、生命あるものすべてが、共生、共存しております。

私たち、日造協佐賀県支部と県造協では、緑の普及啓発活動の一環として、前述の背景を踏まえ、県内の全小学生を対象に緑のキャンペーンを試みました。

初年度は、県教育委員会と学校教育課による指導・助言のもと、「みどりをふやそう」パートII：地球を元気にするみどりの働き...というパンフレットを作成し、県内の小学校の理解と協力をいただき、193校、児童数5万4千名に配布しました。

なお、初回でもあり、特に低学年児童の関心を高める狙いもあって、パンフレットの表紙にはイメージぬり絵とマスコットのネーミングを募集し、特選それぞれ2点と参加賞を決めていただきました。

2年目となる今年度は、近年著しく社会的な関心を高めている地球温暖化対策と緑の役割を取り上げ、同シリーズパートII：暮らしの中のみどりとし、人々の生命に関わる樹木の持つさまざまな働きを、現在判りつつある科学的見地（データ）を判りやすく表現することに努めました。

今回の編集を通じて、教育サイドで教科指導を担当

されている先生方からは、子ども向けの温暖化防止のための教育を進める上でのキーポイントとして、「二酸化炭素(CO2)やエネルギー問題等が挙げられているが、知識を高め、実践活動・体験を進めるには、家族と一緒に、地域での生活の場を通じた取り組みが必要であり、これからの脱温暖化型社会を築く担い手となる子どもたちへの「緑の環境教育」が極めて

大切である」旨の意見が聞かれました。

事務局長・松本光男

協会だより

総支部、支部、事務局からの記事を紹介します

ところで、植物生態学者として有名な宮脇昭・横浜国立大学名誉教授は、この生態系の生産者である緑が濃縮されている森は、物質循環の母胎といわれており、この森なくしてはすべての生き物は生きられない

と。更には、街路樹剪定士の存在が十分に理解されていなかったこと等が主な要因であります。

この運動のスタートとして、10月16日、松本市の県営松本平広域公園で、行政、地元住民、業界関係者100名ほどが参加し、晴れ渡った青空のもとで、式典、記念植樹を行いました。

ご来賓のあいさつの中で、行政からは、「造園業の方には専門家として、美しい街路樹を守ってほしい。」との期待の言葉や、また、地元住民からは、「街路樹を植樹する際は、地元と十分連携を図ってほしい。」などの注文もありました。最後に、「行政、住民、業

界関係者が、美しい街路樹の実現に向けてそれぞれの役割を果たすことが大事であり、その実現に向けて頑張りましょう。」と宣誓がありました。終了後、会場脇の沿道に街路樹（ハナノキ）を記念植樹し、一連の式典が終了しました。

また、この日は、街路樹剪定士の理解を深めるために、式典終了後、剪定実技の研修も行いました。記念植樹をした同じ沿道に植えられたハナノキを、二人の街路樹剪定士指導員が剪定のポイントを説明しながらの実技には、行政の方々も

熱心に見学していかれました。支部では、昨年4月8日を「芝の日」として、緑っぱいの運動を展開してまいりました。加えて、今回「街路樹の日」を制定しましたが、この運動が掛け声だけで終わらないよう、少しでも

県民に理解され、実のあるものとなるよう会員一同努力していく覚悟であります。一方、責任の重さを痛感しております。

事務局長 長田憲治

事務局の動き

〔ゴシック体は主な動き〕

- 1(水)・造園基幹技能者制度推進協議会分科会
- 造園CPD推進委員会企画会議
- 2(木)・登録造園基幹技能者テキスト編集会議
- 3(金)・「広報日造協」編集会議
- 中国清華大学景観整備視察交流会
- 7(火)・登録造園基幹技能者講習委員会
- 技能五輪全国大会競技委員会
- 8(水)・造園環境緑化産業振興会代表者会議
- (記事一面)
- 9(木)・運営会議

- 1(土)・第46回技能五輪全国大会
- 11(月)
- 17(金)・全国花育活動推進協議会企画運営会議
- 22(水)・登録造園基幹技能者事務局打合せ会議
- 造園ものづくり検討ワーキンググループ会議
- 23(木)・建築教育の需給構造と建築職能の将来像に関する特別研究委員会
- 26(日)・AIPH総会(ドバイ) 31日
- 31(金)・「ひろげよう 育てよう 緑の都市」全国大会(東京)
- エコ・グリーンテック2008

- 6(木)・運営会議
- 建設業労働災害防止協会「危険性・有害性等のマニュアル委員会」ワーキンググループ委員会
- 7(金)・国土交通省関東地方整備局とのヒアリング
- 8(土)・伝統的造園技能・技術継承講習会(沖縄総支部)
- 10(月)・台湾園芸博覧会顧問会議 12日
- 11(火)・総務委員会企画部会・登録造園基幹技能者特別講習
- (福岡県支部)
- 12(水)・総務委員会財務部会
- 13(木)・伝統的造園技能・技術継承講習会
- (近畿総支部)
- 27(木)・植栽基盤診断士実技試験(昭和記念公園) 12/1

- 14(金)・宮崎県支部との意見交換会
- 17(月)・伝統的造園技能・技術継承講習会
- (四国総支部)
- 18(火)・造園・環境緑化産業振興会シンポジウム
- 19(水)・伝統的造園技能・技術継承講習会
- (関東・甲信総支部)
- 25(火)・伝統的造園技能・技術継承講習会
- (広島県支部)
- 27(木)・植栽基盤診断士実技試験(昭和記念公園) 12/1

皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください

日造協賛助会員の紹介 06

株式会社ベストコンピュータシステム

当社は、昭和56年の設立以来、各種ソフトウェアの設計・開発をメイン業務に確かな技術を提供してまいりました。売上販売管理、在庫管理、生産管理、経理、人事、流通システム等開発し、又富士通、NEC、松下電器、住友電工等の大型プロジェクトにも数多く参加してまいりました。

当社が造園業のソフトを開発するきっかけは、早20年を経過し、昭和63年に東京都造園建設業協同組合や設計事務所様からの協力を得て、造園業様向けに特化した「造園土木積算システム」を発売するようになったことでした。

(株)ベストコンピュータシステム 東京都新宿区西新宿3の15の5の602、☎03・5302・9256、FAX 03・5302・9258

大会(千葉県) 2日

5(水)・「広報日造協」編集会議

建設雇用改善推進全国大会

6(木)・運営会議

建設業労働災害防止協会「危険性・有害性等のマニュアル委員会」ワーキンググループ委員会

7(金)・国土交通省関東地方整備局とのヒアリング

8(土)・伝統的造園技能・技術継承講習会(沖縄総支部)

10(月)・台湾園芸博覧会顧問会議 12日

11(火)・総務委員会企画部会・登録造園基幹技能者特別講習

(福岡県支部)

12(水)・総務委員会財務部会

13(木)・伝統的造園技能・技術継承講習会

2009 新年造園人の集い

2009年 1月6日 火曜日 18時より
グランドプリンスホテル赤坂 新館2階クリスタルパレス

皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加ください